

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、一時3.78台後半までレアル高が進む時間帯も見られたが、政情不安の高まりやインフレ率(IPCA)高進を受けて引けにかけてはレアル売りに転じ、3.88台後半で取引を終えた。昨日公表された9月IPCAは前年比9.49%と、8月の9.53%から小幅鈍化したものの、前月比では8月の0.22%から0.54%へ伸びが加速。レアル相場が過去最安値を更新したことが影響し、食品・住宅・衣料などが主導する形で物価が上昇した。また、ブラジル連邦会計検査院(TCU)が「ルセフ大統領が2014年の政府会計予算を操作して赤字拡大を隠蔽した」と全会一致で認め、議会に昨年の予算を否決するよう促したことも市場心理を圧迫した。TCUによる会計予算の否決は、第1次ヴァルガス政権であった1937年以来2度目。TCUの判断に法的拘束力はないものの、野党がルセフ大統領の弾劾手続きを進める材料として利用する可能性がある。

IMFは昨日公表した国際金融安定性報告書(GFSR)で、FRBが2006年以来となる利上げを準備する中、新興国は銀行や企業の債務水準が高いため、金融ストレスや資本流出の影響を受けやすい状態にあると指摘。米利上げの条件は「ほぼ整っている」とし、「新興国は脆弱性の高まる状況から新たな世界市場の現実に応用していくという大きな課題に直面している」との認識を示した。

マーケットデータ

Indicator		Unit	10月6日	10月7日	前日比	9月4日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,8526	3,8862	+0,0336	3,8434	+0,0428
	対円	JPY	31,21	30,88	-0,33	30,98	-0,10
	対ユーロ	BRL	4,3432	4,3672	+0,0240	4,2862	+0,0810
円	対ドル	JPY	120,23	120,01	-0,2200	118,99	+1,0200
	対ユーロ	JPY	135,52	134,86	-0,66	132,68	+2,18
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	47.735	48.914	+1.179	46.498	+2.416
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	407,0	429,5	+22,5	379,0	+50,5
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,25	15,56	+0,31	15,08	+0,48
DI Future Jan17 (金利先物)		%	15,23	15,48	+0,25	15,04	+0,44
3 Months US Dollar Libor		%	0,318	0,318	+0,000	0,332	-0,014
CRB Index (国際商品指数)		Index	200,1	199,6	-0,5	196,7	+2,9

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

